

2023年4月28日

各位

会社名 株式会社IDホールディングス
代表者名 代表取締役社長 船越 真樹
(コード: 4709 東証プライム)
問合せ先 執行役員 コーポレート戦略部長 荒木 靖博
(TEL. 03-3262-5177)

当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要

当社取締役会は、取締役会の実効性向上を図るべく、年に1度、取締役会全体としての実効性に関する分析・評価を実施しています。その結果の概要を以下のとおり開示します。

記

1. 分析・評価のプロセス

2022年度は、以下のプロセスに沿って取締役会の実効性に関する分析・評価を行いました。なお、透明性・客観性の確保を目的として、アンケートの作成・配布・回収・集計・評価の一部を第三者機関に委託しています。



2. アンケート項目

- ① 取締役会の役割・機能
- ② 取締役会の規模・構成
- ③ 取締役会の運営状況
- ④ 指名報酬委員会の構成と役割
- ⑤ 指名報酬委員会の運営状況
- ⑥ 社外取締役に対する支援体制
- ⑦ 監査役の役割
- ⑧ 投資家・株主との関係
- ⑨ 当社のガバナンス体制・取締役会の実効性全般
- ⑩ 自己評価

3. 評価結果

アンケート結果および取締役会での議論を踏まえ、当社の取締役会は実効性が十分に確保されていると評価しています。

- ・取締役会の重要な役割・機能は、戦略の策定・業務執行の決定と監督であるとの認識が共有され、執行と監督の適切なバランスのもと、取締役会の役割・機能は適切に果たされている。
- ・オープンで活発な議論が行われ、中長期的な経営方針・戦略、人材の確保・育成などを含む当社の重要な経営課題やリスクについても十分な議論がなされている。
- ・社外取締役・監査役は、取締役会以外にも意見交換の場をもつと同時に、社内会議や研修に積極的にオブザーブ参加することにより、取締役会における議論に十分に備えている。

4. 今後の取組み

取締役会の実効性を評価するなかで、以下の項目について取り組んでいく必要があることを確認しました。

項目	取組み方針
資本政策	中長期的な資源配分とバランスシートの在り方を踏まえた資本政策について、取締役会で議論を深めていく
人的資本	外部環境や市場動向を踏まえた人材戦略について、定期的に議論を行っていく
サステナビリティ	事業活動を通じて取り組む課題を整理したうえで、継続的に議論を行っていく

今後も、上記をはじめとする重要な経営課題について継続的に議論を行うことで、さらなる実効性の向上に努めます。

以 上